

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)ラポール藤沢計画新築工事	階数	地上5F
建設地	藤沢市善行1丁目12番9他1筆	構造	RC造
用途地域	第2種中高層住居専用地域	平均居住人員	120人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760時間/年(想定値)
建物用途	病院	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2019年2月 予定	評価の実施日	2017年9月25日
敷地面積	2,403㎡	作成者	(株)設計工房イー・ティー
建築面積	1,391㎡	確認日	2017年9月28日
延床面積	5,115㎡	確認者	(株)設計工房イー・ティー



### 2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

**BEE = 0.7** ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

### 2-2 ライフサイクルCO2(温暖化影響チャート)

標準計算

30%: ★★★★★ 60%: ★★★★★ 80%: ★★★★★ 100%: ★★★★★ 100%超: ★★★★★

①参照値 100%  
②建築物の取組み 89%  
③上記②以外のオンサイト手法 89%  
④上記+オフサイト手法 89%

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO2排出量の目安で示したものです

### 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

### 2-4 中項目の評価(バーチャート)

**Q のスコア = 2.5**

#### Q1 室内環境

Q1のスコア = 2.9

#### Q2 サービス性能

Q2のスコア = 2.6

#### Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 2.1

**LR のスコア = 2.9**

#### LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.0

#### LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 2.7

#### LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 2.9

3 設計上の配慮事項		
総合	その他	
最低限でも基準以上の品質を確保するよう努めた。		
Q1 室内環境	Q2 サービス性能	Q3 室外環境(敷地内)
F☆☆☆☆を採用	機能性、使いやすさとして個室10㎡/床以上確保	
LR1 エネルギー	LR2 資源・マテリアル	LR3 敷地外環境
年間熱負荷係数 BPI <sub>m</sub> =0.78		ライフサイクルCO2の排出率が、参照値に対して50%超え~100%未満としている

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■「ライフサイクルCO2」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修・解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■評価対象のライフサイクルCO2排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される